



**<議会改革>**  
**印南 宏は議会改革に取り組み中!!**  
 (議会改革特別委員会副委員長として)



我孫子市議会は、議会運営の活性化と開かれた議会をめざし、今日まで本会議や委員会のインターネット中継、議員定数の削減(法定数 34 名→24 名へ)、採決表示システムや一問一答制の導入など、数々の議会改革に取り組んできました。しかし、地方議会の果たす役割が高くなる一方で、地方議会及び議員をめぐる全国的に様々な提言や批判が今も多く寄せられています。

私たちは更なる議会改革をめざし、平成 23 年 2 月に議会基本条例検討委員会を設置して検討を重ねてきました。先進地行政視察や市民アンケートの実施、11 回にわたる委員会を経て、平成 23 年 9 月、検討委員会は、市民の皆さまの声を真摯に受け止め、二元代表制における市議会の在り方・市民の負託に応えうる合議体として市議会の活性化と市民に開かれた議会改革を一層進めるため、議会基本条例の策定を進めるべきとの結論でまとまりました。

その後、昨年 11 月の市議会の改選を経て、新たに選任された市議会で平成 24 年 3 月に議会改革特別委員会を設置し本格的な検討を始めました。私も、当委員会の副委員長に就任しました。

市議会が役割を適切に果たし、市民の負託に応えていくためには議会が全体としてまとめ、相互の討議を通じて合意形成を図ることや、その結果を集約した意思を踏まえて、執行機関に対する監視・提言や議会としての政策提案を行っていくことが強く求められています。

**\*\*\*\*「あびこ未来会議」開催のお知らせ\*\*\*\***

我孫子市議会の会派(グループ)「あびこ未来」(印南 宏代表、早川真、坂巻宗男、飯塚まこと)では、今年 4 月に実施した会議に続き、第 2 回「あびこ未来会議」を下記のごとく開催します。今回も多くの方々のご参加をお待ちしております。(予約の必要はありません。どうぞお気軽にご参加をお願いします。)

**緊急テーマ：我孫子市の放射能対策・高濃度焼却灰問題**



日 時：7月22日(日)

- 1 回目 午前 10 時 30 分～  
於：布佐南近隣センター
- 2 回目 午後 2 時 00 分～  
於：湖北台近隣センター

**進む！『あびこ未来』**



現場主義

ほっと

# Communication

印南 宏後援会 会報
2012.7.3 No.55

**一体法案が衆議院で可決！**

国会では財政再建と社会保障制度改革を推進するための消費税引き上げを柱とする「社会保障・税一体改革関連法案」が 6 月 26 日、衆議院本会議で民主、自民、公明、国民新党などの賛成多数で可決されました。多くの国民は今、日本が抱える巨額財政赤字の現状や、少子高齢化が急激に進む中で社会保障に莫大なお金が必要なことは理解をしています。しかし、長く続いているデフレ経済の脱却や 3.11 東日本大震災の復興が思うように進まないなかで、消費税を上げることへの不安・危機感を抱いているのも事実です。

こうした国民の思いが交叉する中で、政権与党と野党第 1 党および第 2 党が増税で合意し、法案が衆議院議員の約 8 割の賛成票で成立した背景には、このままでは年金も医療も立ち行かなくなるという強い危機感によるものだったと思います。

今後は、2014 年 4 月の消費税増税までに、多くの国民が願っている議員定数の削減や議員特権の廃止、公務員制度改革の実行に加えて、低所得者の対策である「軽減税率の導入」などの対策を担保し、結果を出していくことが国会・政治家に求められているものと考えています。

**「安全・安心なまちづくり」を巡る動き！**

私たちの街「我孫子市」は、震災の復旧・復興や放射能対策を全力で取り組んでいます。一例として、子どもたちの将来のために必要な放射能対策総合計画の策定を進めています。また、震災により被害が集中した布佐東部地区の再生や、我孫子市内全域を対象とした我孫子市復興計画の策定を通じて、震災からの再生・防災対策の強化に取り組んでいます。そうした中で、柏市と共同で行ってきた夏の風物詩、手賀沼花火大会が、市議会には何の相談・連絡も無しに、突然、この 4 月末に中止が決定されました。復興に向けたシンボルとなるはずの手賀沼花火大会の中止は、安全・安心なまちづくりを目指す中で、大変残念でなりません。

また、5 月には江戸川から基準値を超える有害物質ホルムアルデヒドが検出され、北千葉広域水道事業団からの送水が停止し、我孫子や天王台地区を中心に広範囲で断水が発生しました。

さらに、6月には、高濃度の放射性物質を含む、ごみ焼却灰の一時保管場所を手賀沼終末処理場に決定した旨、千葉県知事による一方的な発表が突然なされました。

このように、「安心・安全なまちづくり」をめぐる様々な問題が今、一斉に我孫子市に襲いかかっています。今こそ、市議会が一つになり、我孫子の未来のために活動することが必要になっています。私は、これからも市議会の一員として諸問題の解決に努め、持続可能なまちづくりに全力で取り組んでまいります。引き続きのご指導とご支援をお願いします。

## 6月議会報告

6月議会に提出された議案は13件。主な議案は①我孫子市東日本大震災復興交付基金条例の制定、②我孫子市火災予防条例の一部を改正する条例の制定、③我孫子第二小学校の校舎増築工事請負契約の締結、④消防緊急無線をアナログ無線方式からデジタル無線方式に移行するために必要な移動無線局の取得などです。その他、請願では「柴崎後田地区の宅地開発における排水対策の請願書」が提出され、全会一致で可決されました。

また、5月28日の市議会全体説明会の冒頭に、市長からは5月19日に発生した北千葉広域水道事業団の断水事件の概要と対策、教育長からは教育委員会職員の懲戒処分について、報告と陳謝が行われました。この二つの問題は6月定例市議会でご各議員から取り上げられ、争点の一つとなりました。

印南が所属する「あびこ未来」(会派)は、6月議会の一般質問に飯塚まこと議員が登壇し、高濃度放射性物質を含む焼却灰問題を中心に質問・提言を行いました。復興関係では、国が東日本大震災で被災した自治体に配分する「復興交付金」が5月25日に確定し、我孫子市には約1億7,300万円が認められました。復興交付金の活用で一刻も早い布佐東部地区を中心とした液状化対策の進捗・復興に努めてまいります。

我孫子市議会最終日には、この7月に再稼働した大飯原子力発電の再稼働の決定取り消しと、新たな安全基準確立後の判断とエネルギー政策の転換を求めて、発議案第2号として「大飯原子力発電所の再稼働に関する意見書」を全会一致で採択しました。また、人事案件として、人権擁護委員として、木川敏子氏の選任に同意しました。

### 宏と語る小さな小さな ティーパーティー開催中!

お気軽にお電話下さい。  
行政相談もこちらへ!  
ご意見をお待ちしています。

いんなん ひろし  
印南 宏

後援会事務局 7184-2860

自宅 7189-1598

住所 我孫子市布佐平和台 7-1-18

ブログ <http://hiroshi4649.at.webry.info/>

E-MAIL [innami@mqd.biglobe.ne.jp](mailto:innami@mqd.biglobe.ne.jp)



## 焼却灰一時保管場所問題の行方

平成24年6月18日、千葉県知事は、高濃度放射性物質を含む焼却灰を手賀沼流域下水道終末処理場に一時保管することを我孫子市議会に何ら連絡をすることもなく、一方的に発表しました。

一方で、我孫子市議会は、今日まで3回にわたり、終末処理場案の白紙撤回を求めて反対の決議を全会一致で可決しました。主な理由は、

- ・既に終末処理場は流域7市から流れ込む公共下水により、放射性物質を含む汚泥焼却灰1,500トン以上を同所で保管し、その量は今も増え続けており、その上で新たに焼却灰を受け入れることは到底容認できるものではない
- ・焼却灰の一時保管場所は本来、国や東電が責任を持つべきで、千葉県は各自治体の国有地などを含めて再考すべきである
- ・一時保管場所は自区内処理が原則であり、市域を超える遠距離の移動は高濃度の放射性物質の拡散につながる恐れがあることなどです。

我孫子市議会は議長・副議長が千葉県庁を訪れ、白紙撤回を求める議長声明文を責任ある立場の坂本副知事へ直接手渡しをしました。私はこれからも市民の皆さんとともに終末処理場案の白紙撤回を勝ち取るために全力で行動していく覚悟です。

## 印南 宏の総務企画常任委員会での質問骨子

私は総務企画常任委員会にて以下に関する質問と提言等を行いました。詳細は議会だより、HP等をご覧ください。

- 地域コミュニティ活性化基本方針について
  - ・策定委員会の増員
  - ・策定委員会とコンサルタントの関係
  - ・策定過程の重要性
- 地域防災計画について
  - ・千葉県の修正案と被災自治体である我孫子市防災計画
  - ・相互応援協定、締結の必要性
- 消防団の充実について
  - ・条例定数と欠員状況、補充方法
  - ・組織の再構築と報酬見直し
- 公契約条例の制定について
  - ・検討の場の創設
  - ・課題の整理、条例化の判断
- 広域行政について
  - ・文化会館単独整備の考え方
  - ・委員会立ち上げと建設場所など。



『住んでよかった』そして『住んでみたい』と言われる街に